

博士課程って
どんなところ
だろう？

博士の
就職ってどう
なんだろう？

大学院生のための
キャリアパスガイド

CAREER

PAH

GUIDE

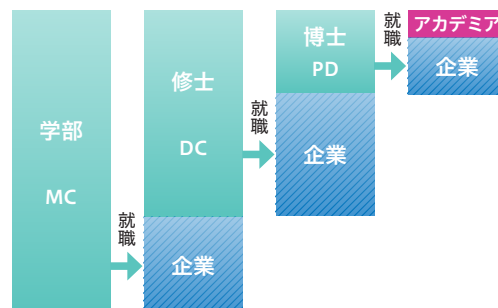


博士のキャリアパスのイメージ

大学院生の皆さん、なぜ大学院に進学したのですか？
これからのキャリアをどのように考えているのでしょうか？

多くの方は理工系なら大学院修士まで進学して、その後は企業などに就職と考えているのではないのでしょうか？しかしグローバル化が急速に進む世の中では企業における研究活動を担えるのは、修士から博士に移行しつつあります。

PhD リクルート室では博士課程学生や博士に興味を持つ修士課程の方を対象に、アカデミアでも産業界でも必要で役に立つ能力であるジェネリックスキルを獲得するプログラムを提供するとともに、産業界でのキャリアを形成するためのキャリア相談窓口の開設、マッチングやインターンシッププログラムを実施し、支援していきます。



M1・M2の方：(将来の見極め)

これからアカデミアでも産業界でも研究開発分野でキャリアを積もうとする方は、グローバル化する特に産業界の動向、博士という学位の重要性をしっかりと情報収集して認識を高めましょう！博士はアカデミアでは当たり前ですが、産業界でも研究開発部門ではグローバルには重要なタイトルになります。

D1・D2の方：(積極的な活動)

D1は時間的にまだ少し余裕がありますので、この間にジェネリックスキルを高め、企業との接点構築をしましょう。D1から接点を深めると、よりよいマッチングが期待できます。D2は通常の定期採用であればまさに就職活動年にあたります。積極的に産業界との接点を構築し相互理解を深めましょう。

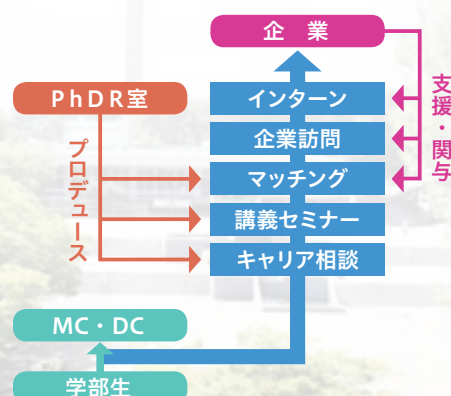
D3・PDの方：(可能性の追求)

定期採用の波には乗り遅れています。しかし博士には通年採用の動きもではじめており、チャンスはまだ多くあります。焦らずに企業との接点を深めましょう。

PhD リクルート室、事業の概観

上記の考え方のもとに、当室では修士を含む大学院生に対して、その意識を変革するための講義、また専門知識や研究スキルをどのような場面でも発揮できるようなジェネリックスキルを獲得するためのセミナーを提供するとともに、産業界との連携のもとに実際に企業と接点を構築するための実践参加型マッチングイベントやインターンシップなどの機会を提供します。

模式的に記載すると右のような仕組みです。学部生や修士のうちから当室が提供する意識改革型プログラムによってジェネリックスキルを獲得しつつ、博士に進学すると企業も関与したマッチングイベントやインターンシップなどで接点を広げるとともに深めていき、お互いに情報交流を密にしていくというものです。これらについてももう少し詳細にご説明します。



キャリアマネジメントセミナー

博士後期課程学生（DC）や博士研究員（PD）の皆さん、もちろん博士前期課程学生（MC）の方々も大学院や研究室で専門知識を身につけ、研究スキルを磨いていると思いますが、実は、その深掘りの専門性だけでは世の役に立つことは難しいのです。大学院での研究は基本的に一人で実施することが多いのに対して、企業での実験研究はほとんどがチームで推進します。

そのためチーム内のコミュニケーションやリーダーシップなど、仕事を成果につなげていくためには、研究以外の知識やスキルが必要になってきます。また、企業の研究成果は学術誌への論文発表よりも知的財産権（特許権など）の獲得が最優先されます。このように企業とアカデミアでは手段・手法・優先順位が異なるため、研究以外の知識やスキルも皆さん自身で身につけていく必要があります。当室ではこのような知識の獲得もお手伝いします。

2020年度はトライアルとして10コマを実施しましたが、2021年度は下記15コマで実施します。

■ 2021年度実施予定：前期4月～8月の毎週金曜午後 毎週1コマ全15回

講義内容	講 師
1 企業の種類と分析	PhDリクルート室 樋口 直樹
2 プレゼンテーション	物質材料研究機構 小林 隆司
3 リーダーシップ	大日本住友製薬 板倉 朋宏
4 イノベーション	三菱ケミカル 宗像 基浩
5 マーケティング	クラレ 中野 一郎
6 アントレプレナー	シーズレイザー 山下 良一
7 新事業創出事例	ビザスク 端羽 英子
8 知財マネジメント	サントリーHD 藤村 朋子
9 新商品開発	富士フイルム 中村 善貞
10 事業戦略策定	日本電気 貞廣 滋
11 技術と事業(1)食品企業の事例	ハウス食品 上野 正一
12 技術と事業(2)IT企業の事例	富士ゼロックス 坂田 政一
13 技術と事業(3)航空会社の事例	ANAホールディングス 津田 佳明
14 技術と事業(4)企業内起業の事例	イプロス 岡田登志夫
15 技術と事業(5)化学企業の開発事例	ブリヂストン 小平 美帆

講演の順序は変更になる場合があります。
詳細はシラバスをご覧ください。



interview

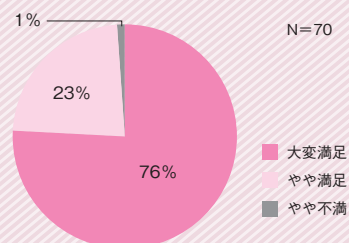
新潟大学大学院
自然科学研究科
博士後期課程1年(DC1)
阿部 透

「博士の価値」について企業の方の声を聞いたことのある方は少ないのではないのでしょうか？私自身も企業から見た「博士の価値」についてあまり意識せずに博士後期課程に進んでしまいましたが、今後のキャリアを考える上で一度しっかり考えたいと思い、セミナーを受講しました。

セミナーでは有名企業の人事の方からご講演頂きました。最も印象に残っている点は、企業は博士の技術や専門知識よりも、厳しい博士研究の過程で得た遂行力や論理的思考力を買っているということです。博士卒が企業で活躍する場は狭いのではと思いますが、今企業は専門分野に限らず様々な場で博士人材を求めており、「博士の価値」が高まっていることを知ることが出来ました。普通の大学生活ではなかなか知ることのできない内容であり、受講したことで今後自分どのように成長すべきかを考えるよいきっかけになりました。

2020年度
アンケート結果

今回の講義の満足度をお聞かせください



感想

- これまでに聴いてきたセミナーの中でも群を抜いて面白かったです。プレゼンテーションにおいて「気持ちの流れ」を考えたことは今までなかったため、本日お聞きした話すべてが目から鱗でした。楽しいお話をありがとうございました。
- ファシリテーションは、少し経験はあったのですが、理論的ではなかったため、今日の講義でスキルと知識の向上が出来ました。資料が緻密かつ具体的に理解しやすかったです。演習があり、自分の不足するところや癖も分かりました。
- 集中力が途切れがちなオンラインにも関わらず、テンポが良く、飽きさせず、講師の伝えたいことが的確に伝わってくる素晴らしい講義でした。

ジェネリックスキルセミナー

キャリアマネジメントセミナーを補完する目的で設計しています。講義だけではなく、演習等で実際のスキルを身につける必要があるようなコンテンツです。いずれも就職活動などが本格化する前の前期に開催を予定しています。

1. ビジネスマナー

企業との直接的な接点を持つ場合（訪問や面談など）には直接／間接（WEBなど）に関係なく、基本的な社会人としてのマナーが要求されます。社会人としての常識を身につけておきましょう。

講師 ANAビジネスソリューション 高原 温子

2. 交渉学

社会人になれば仕事上でもプライベートでも交渉によって物事を解決する場面に多く遭遇します。喧嘩するのではなく双方が納得する交渉をするためには、事前の調査、獲得目標の幅、交渉決裂時の対応など多くの準備や心構えが必要です。しなやかな対話力を身につけましょう。

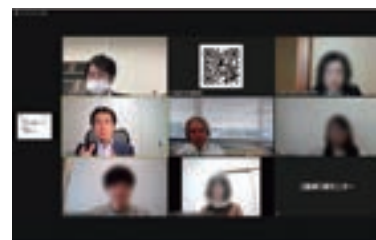
講師 東京富士大学教授 隅田 浩司



3. プロジェクトファシリテーション

社会に出ると仕事は一人ではなくチームですることがほとんどになります。その場合リーダーシップ等の能力が必要となりますが、プロジェクトを推進するためにはファシリテータの役割が重要になってきます。

講師 古河電工戦略本部主席BPR 関 尚弘



interview

新潟大学大学院
現代社会文化研究科
博士後期課程2年(DC2)

亀岡 雅紀

本講義でビジネスマナーの基本を学ぶことができ、大変有難く思います。現在、私は博士後期課程2年生ですが、これまでビジネスマナーを学ぶ機会はありませんでした。例えば、学会発表では多くの先生方と名刺を交換させていただく場面があります。その時の情報は、インターネットの情報を頼りにしておりましたが、ネットでは様々な意見があり、私の行い方は果たして正しいものなのか不安がありました。その中で、今回のセミナーはビジネスマナーの基礎を実践形式で学び、先生から直接ご指導もいただける素晴らしいものでした。例えば、名刺交換の場面では、名刺をただ交換するだけではなく、“相手に自分を伝える、心を伝える”場面でもあることを学びました。名刺ケースの持ち方、名刺入れの選び方などその一つ一つには、相手への敬意や思いやりの心が隠れていること、今後もそのことを肝に銘じ活動に取り組んでいきたいと思っています。



interview

新潟大学大学院
自然科学研究科
博士後期課程2年(DC2)

深澤 永里香

受講のきっかけは、スタッフの方からのすすめでした。“交渉”という言葉に対して“心理戦”“言葉巧みに引っ掛ける”というイメージがありました。しかし交渉学は普段の研究活動でも役に立つと伺い、実際に講義を聞いてみると、交渉学とは相手の視点に立ち、自分にとっても相手にとっても有益になる策を見つけるコミュニケーションスキルでした。

この講義を受けてとても良かった点は自分の交渉の癖と足りない能力が分かったことです。講義では交渉に必要な能力、陥りやすい危険な思考パターンや心理の罠について学んだ後に、実際にシミュレーションを設けて交渉をやってみる演習がありました。一通り交渉の術を学んだとはいえ、すぐに使いこなすことは難しかったですが、演習後のフィードバックで自分の交渉の癖とこれから意識して身につけなければならない交渉のためのスキルを認識できました。交渉の癖は自分の普段のコミュニケーションの癖でもあるので、今回それを見直せたおかげで研究室メンバーとの議論が以前よりスムーズにできるようになったと実感しています。

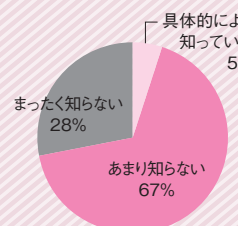
大学院生のための キャリアセミナー

本セミナーは実際に博士課程に進学し、かつ学位取得後、産業界に自身のキャリアを構築した先輩たち、社会人博士を招き、キャリア構築の事例を聴くとともにそれに至る葛藤や決断など、皆さんが最も気になる部分の情報交換を行います。学位取得の過程と産業界への進路を決めたきっかけ、準備したこと、そのためのプロセスなど、あまり一般的になっていない情報収集の良い機会となると思います。また、アカデミアと産業界の違いなど、実務的な現在の環境に関してもお話を聞くことができます。

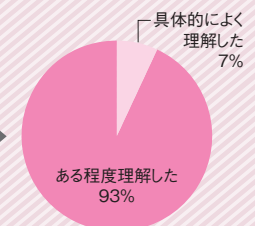


2020年度アンケート結果

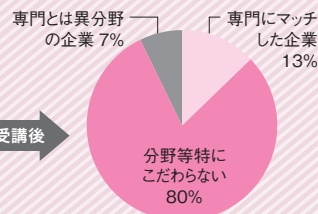
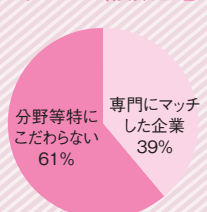
企業における研究開発についてあなたはどの程度知ってますか？



今回の講義を受講して、企業での研究開発の仕事についてどの程度理解が進みましたか？



企業就職するのなら、あなたはどのような分野の企業に就職したいですか？（複数回答可）



感想

- ドクター先輩たちの経験談が聞けてとてもよかった。博士課程の進路の多様性に触れられた。
- 進学を迷っている私にとって、大変参考となった。後押しされる部分もありつつ、自分のこれまでの実績と比較して、少し不安にもなった。
- 先輩方もそれぞれ色んな思いを抱えていることがわかった。こういった先輩の生の声を聞ける機会は、後輩にとって非常に有意義であったと思う。
- 専門知識ではなく、研究総合力、研究を推進する力の方がより企業に求められていると感じた。

博士(あるいは博士を目指す修士) 限定のキャリア相談

博士課程（DC）学生や博士研究員（PD）は、修士課程（MC）学生とは異なり、就職活動に関して言えば倫理憲章などの制約はなくなります。つまり通年で就職活動ができるようになります。その分、新卒一括採用の波に乗るのとは異なる時期に異なる方法での情報収集が必要となります。活動のタイミングもばらばらになってきます。

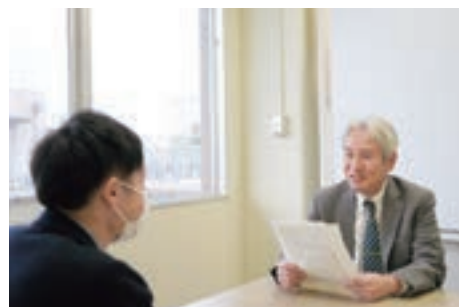
また、多くの同期生が既にMC修了で就職してしまい、同じく産業界に就職を考えている博士の仲間も周囲からは少なくなっています。

このような環境下で就職活動を進めるため、当室では博士専用のキャリア開発個別相談窓口を開設しました。ここでは、

- 1 博士人材が抱える個別の状況や事情の相談を受けます
- 2 獲得した知識やスキルを活かす進路を一緒に考えます
- 3 博士人材を要望している企業との接点を作り上げます

皆さんのキャリアを構築するお手伝いをします。

修士課程（MC）学生でDCへ進学を希望、またDCの実際を知りたいという方のご相談にも応じます！



PhD リクルートフォーラム

企業を知るためにはいろいろな方法がありますが、博士人材にとっても企業人にとっても効果的なのは、直接会って交流することです。ここで実施するマッチングイベントは、誰でも参加できるわけではなく、効率よく交流するために事前にしっかり準備をした、制限された人数の博士人材が参加できます。企業としても専門知識や研究スキルはもとより、意欲がある社会人としての人格を伴う博士人材を要望しています。

- 1 企業が求める博士人材や参画してほしい研究領域など聞くことができる
- 2 博士人材自身の研究テーマや研究スキル、人物像そのものをアピールすることができる
- 3 ブースでの双方向情報交流を実施することでお互いの理解を深めることができる

この場で社風や活躍できる分野の確認、研究所見学や中長期インターンシップの実施に向けた具体的な話も進めることができます。

2020年度の実績

【第1回 PhD リクルートフォーラム】

参加企業 旭化成・アルビオン・京セラ・住友化学・資生堂・信越化学工業・セイコーエプソン・ダイセル・大日本住友製薬・データフォージーズ・東急建設・同仁医薬化工・日本入試センター

参加博士人材 13名（うち、本学博士10名）

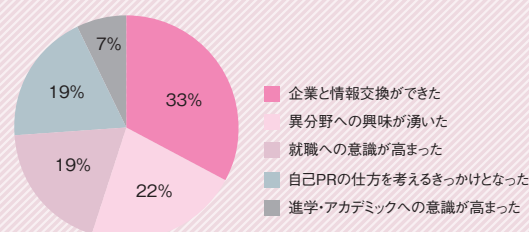
【第2回 PhD リクルートフォーラム】

参加企業 アルビオン・ウェザーニューズ・カネカ・京セラ・島津製作所・住友化学・テクノデータサイエンスエンジニアリング・東芝・日本製鉄・日本入試センター・マルハニチロ・みずほ第一フィナンシャルテクノロジー

参加博士人材 14名（うち、本学博士9名）

2020年度
アンケート結果

PhD リクルートフォーラムは、
進路決定の参考になりましたか？
(学生)



感想

- 学生**
- 「博士卒は自分の専門外でも就職・活躍できる」ということを、今回様々な企業の方と実際に話をする中でより強く感じることができた。
 - 自分の専門にとらわれず、視野を広げて就職を考えることができるといえる点が非常に有意義であった。
- 企業**
- 円滑な進行を頂き誠にありがとうございました。いずれ対面で参加させて頂くこと、また今後更に参加人数も増えていくことを期待しております。
 - お目にかかった方々も優秀と感じました。専門分野に合ったマッチングが出来れば一番良いのですが、それだけではなく研究に対する視点等が生かせるものが企業にもあることを理解していただけると幸いです。
 - 企業プレゼン動画を見て、弊社に興味を持っていただいた方がいらっしゃいました。ありがたかったと感じています。



interview

新潟大学大学院
自然科学研究科
博士研究員 (PD)

黒坂 優美

私は元々、将来はアカデミアよりも民間企業で働きたいと考えていました。しかし、ポスドクになるまでずっと大学で研究してきた私が、果たして民間企業で活躍できるのだろうか、漠然と不安に思っていました。そこで、その不安を払拭したいと思い、フォーラムへの参加を決意しました。

フォーラムに参加し、様々な企業の方と実際にお話する中で、「博士卒は自分の専門外でも就職・活躍できる」と強く感じることができました。例えば、私の専門は音響工学ですが、とある企業から情報通信技術の実務研究をやってみないかと声を掛けていただきました。自分では考えてもいなかった分野で、自分がこれまで研究で培ってきた能力を活かせる可能性があるのだと、とても参考になりました。

企業就職志望の人はもちろん、アカデミア志望の人も、まずはリクルートフォーラムに参加してみたいかがでしょうか。将来を考えたり、自分のスタンスを再確認したりするきっかけになるとと思います。



interview

新潟大学大学院
自然科学研究科
博士後期課程 2年 (DC2)

石田 悠貴

博士修了後の進路を考えるきっかけとして、気軽な気持ちで参加させて頂きました。博士卒の就活は専門的な知識・技能が重視されると参加前は思いこんでいました。しかし実際に企業の方々と話していく中で研究遂行能力や論理的思考力、資料作成能力など副産物的に身につけてきた部分も評価していただき、求められていることを知りました。さらに思わぬ業界から自分の研究のアプローチを評価していただくこともあり、様々な業界の方とじっくりお話をさせていただける本イベントの良さを感じました。加えて事前指導ではPR動画・PRシートの作成、参加者間での意見交換を通じて、自分の魅せ方を学ぶことができたことも良い経験でした。また本イベントへの参加をきっかけに博士課程学生間での交流が生まれており、意見交換のコミュニティとして大切にしていきたいと思っています。広い視野をもって自分のキャリアプランを考える契機としてぜひ利用してみてください。

企業訪問

マッチングイベントで思わぬ企業から勧誘や研究所見学などを申し出られた場合、この機会を逃す手はありません。その企業をこちらから訪問し可能な範囲での見学とともに研究内容などのプレゼンも可能な場合があります。直接企業を訪問すると多くの研究者と話すことが可能です。それによりさらにマッチングが深まりインターンシップから採用につながるケースも多々あります。

- 1 企業を直接訪問して業務の現場を見ることで働くイメージを獲得することができる
- 2 企業人への直接の研究プレゼンで自身の知識や研究能力を確認することができる
- 3 さらには双方向情報交流を実施することでお互いの理解を深めることができる

研究所見学や中長期インターンシップの実施に向けた具体的な話を進めることができます。本年度は秋に1回開催をする予定です。

ジョブ型研究
インターンシップ

産業界のグローバル化に伴い、研究職などの採用がメンバーシップ型からジョブ型へ徐々に移行しつつあることはご存じかも知れません。なぜならば、ジョブ型へ移行しないと高度技術を持った人材に対する処遇を特別に設定することが難しく、グローバルに人材を獲得する競争に勝てなくなるからなのです。

そのような動きに対する準備として、ジョブ型研究インターンシップは企業活動を実体験することで企業研究の実際を知り、その企業との相性などを確認するためにも非常に有効な方法です。企業視線からも、優秀な博士人材に実際の研究テーマを一定期間担当してもらうことで、その人物像から研究スキルや知識レベルも評価することができます。

- 1 企業実務を体験でき、働くイメージを実感できる、企業との相性もわかる
- 2 企業もより深く博士人材の人物を知れ、研究スキルや知識レベルがわかる

企業の中に入り込んで体験できることは、企業の考え方としての「納期」や「コスト」、研究の「出口」の意識を体験し、自分のものとすることができます。

コンソーシアム



博士人材育成はどの大学でも喫緊の課題として認識されています。これまでは各大学が個々の努力で解決を試みてきましたが、いくつかの大学がプログラムを共有し相互に支援しながら育成を試みる「科学技術人材育成のコンソーシアム構築事業」が2015年に開始されました。当初は北海道大学・名古屋大学・東北大学の三大学から始まった取り組みですが、現在ではこれに加えて、大阪大学・お茶の水女子大学・横浜国立大学・兵庫県立大学・立命館大学・沖縄科学技術大学院大学(OIST)・筑波大学・神戸大学、そして新潟大学も加わり、12大学で構成する大きな集団になっています。参加大学は育成プログラムを共有しており、各大学に所属する大学院生はこれを相互利用することができます。

- ・アンケート (キャリアマネ、PhD リクルートフォーラム)
- ・インタビュー：

新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程3年 小川和也

interview



新潟大学大学院
自然科学研究科
博士後期課程3年(DC3)

小川 和也

他大学主催のマッチングイベントに参加する一番の利点は、他大学の学生の就活を知れる点だと思います。

私はマッチングイベント自体初めての参加でし、企業の方々に私自身の研究を紹介した事がなかったので、どう見れば良いのか分からず発表資料や動画を作るだけで精一杯でした。しかし、他大学の方々は初参加の人でもマッチングイベントに慣れている方が多く、企業の方々にどう見れば良く理解してもらえるのか、どのように質問すればよいのかを理解し実践しており、私は危機感を覚えました。

新潟大学にいと井の中の蛙になりやすい為、他大学や異分野の博士後期の学生と話す機会などなく、ましてや博士人材としてのどのように就活をしているか知る機会などありません。今後ライバルとなるかもしれない方々の就活状況や企業向けの発表技術を知るには、新潟大学だけでなく連携している他大学主催のマッチングイベントに参加することが一番手っ取り早い方法かと思います。連携しているので参加しやすく、おススメです。

■ 授業科目

【前期課程：課程共通科目】

No.	科目名	内 容	単位	開講番号
1	修士のためのキャリアマネジメントセミナー	キャリアマネジメントセミナー	2	210F5301

【後期課程：課程共通科目】

No.	科目名	内 容	単位	開講番号
1	博士のためのキャリアマネジメントセミナー	キャリアマネジメントセミナー	2	210F5321
2	博士のキャリア開発の実践	PhDリクルートフォーラム ジェネリックスキルセミナー 大学院生のためのキャリアセミナー 企業研究サイトビジット	1	210F5322
3	博士ジョブ型研究インターンシップ	インターンシップ(1ヶ月以上)	2	210F5323

詳細はシラバスをご覧ください。

■ 2021年実施プログラム(予定)

○ 受講対象 × 受講対象外 ☆ 単位取得要件についてはシラバスを参照

プログラム名	BC	MC	DC	PD	単位
キャリアマネジメントセミナー	×	○	○	○	☆
ジェネリックスキルセミナー	×	○	○	○	☆
大学院生のためのキャリアセミナー	聴講のみ	○	○	○	☆
PhDリクルートフォーラム	×	×	○	○	☆
企業研究サイトビジット	×	×	○	○	☆
博士ジョブ型研究インターンシップ	×	×	○	○	☆
博士ジョブ型研究インターンシップ体験報告会	○	○	○	○	

※日程等の詳細はホームページでご確認ください。 <https://www.phd.niigata-u.ac.jp/>

スタッフ



PhDリクルート室長
副学長・自然科学系教授/
地域創生推進機構副機構長
阿部 和久



担当教員
PhDリクルート室特任教授
樋口 直樹



兼務教員 自然科学系教授/
大学院自然科学研究科
副研究科長
本田 明治



兼務教員 自然科学系教授/
大学院自然科学研究科
副研究科長
永井 直人



兼務教員 自然科学系教授/
大学院自然科学研究科
副研究科長
飯島 淳彦



事務スタッフ
PhDリクルート室
中村 弥生

アクセス



■ 列車利用(JR越後線)

新潟駅～内野駅

(所要時間25分)下車
徒歩で約15分

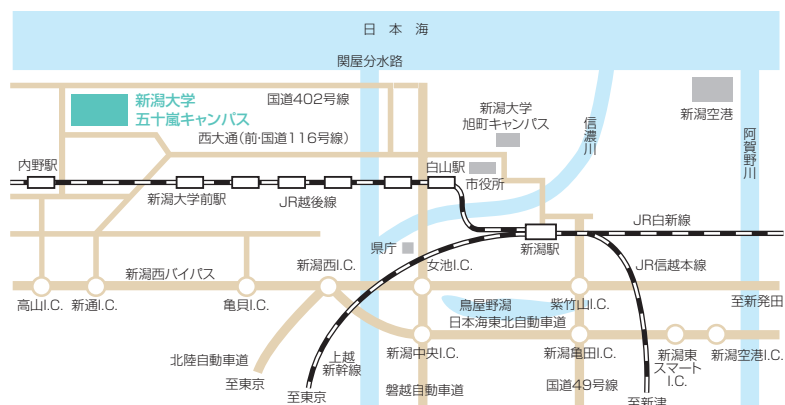
新潟駅～新潟大学前駅

(所要時間22分)下車
徒歩で約20分

■ バス利用(新潟交通)

新潟駅～新潟大学西門

(所要時間約45分)



連絡先

〒950-2181

新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050

新潟大学大学院自然科学研究科管理・共通棟4階406号室

TEL:025-262-7217(内線7217) FAX:025-262-7217

E-mail: phdrecruit@gs.niigata-u.ac.jp

URL: www.phd.niigata-u.ac.jp